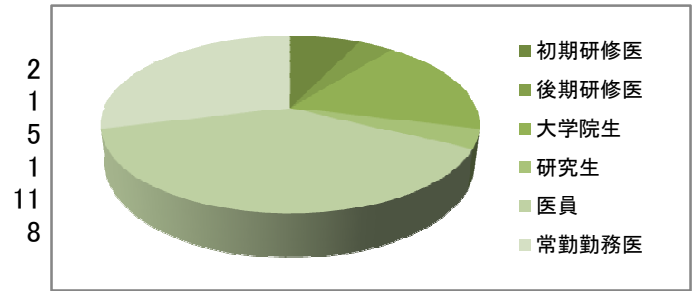


女性医師に関するアンケート

配布数 69枚、回収数 24枚、回収率 34.8%

問1:現在の勤務形態

- 1 初期研修医
- 2 後期研修医
- 3 大学院生
- 4 研究生
- 5 医員
- 6 常勤勤務医
- 7 非常勤勤務医
- 8 開業医
- 9 子育てのための休職中
- 10 その他の理由で休職中
- 11 その他



問2:大学院生の子供の保育所の入所に困難を感じるか?

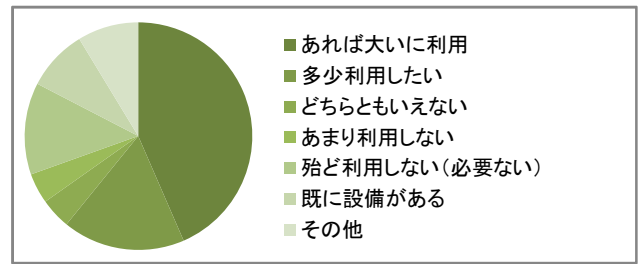
- 1 具体的にどんな苦労
 - バイト勤務のため、就学証明がとられず、認可保育園へ入園できなかった。
 - 全部で5, 6回は市役所へ交渉に行った。学生ということで時間割の提出を求められた。就労証明が得られず苦労した。(市役所窓口の人の対応や理解度(制度について)がかなり違い、問題。
 - 希望のところへ入れず、半年待った。
- 2 正職員と比べて
 - 医師である院生は仕事をしていると理解してくれる人に会うまで何回も行った。「すこやか」の対象から外され、何度も交渉に行った。「すこやか」の制度の説明用紙を求めたが市役所ではないと言われ、保育所からもらった。
- 3 病院勤務をしていたので
4 研究期間は入所できず
5 その他
 - 保育所入所だけでも大変なのに、育児支援制度を受けるためにも多くの労力が必要だった。(学生は対象外と何度も説明されたが、説明文にはそんな項目はなく、その担当課の上の方が出てきて、ようやく話が通った)
 - 無認可だったのですぐ入所できた。
- 6 どのような支援が必要
 - 男女ともバイトに精を出さなくても、もしくは地域医療や病院の雑務に借り出されないようにしてあげてほしい。
 - 無利子の貸借金、休学期間の再考、学生も含めた託児室
 - 行政への働きかけ(不定期パートタイム勤務をしながら学業を行っていることを知って欲しい)。
 - 保育所担当の市職員の方に、保育所についてや育児支援制度について、もっと勉強していただきたい。研修中の院生は授業を受ける大学生とは違い、市の求める証明を提出できないが、立派に働き研究していることを知ってほしい。

女性医師支援プロジェクト

問3: 職場環境

1. 女性医師仮眠室

- 1 あれば大いに利用 10
- 2 多少利用したい 4
- 3 どちらともいえない 1
- 4 あまり利用しない 1
- 5 殆ど利用しない(必要ない) 3
- 6 既に設備がある 2
- 7 その他 2

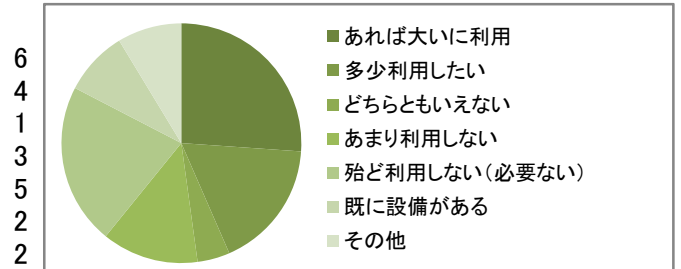


医局や病棟のそばであれば利用したいが、地下などであれば利用しない。

現在女性医師用でないものですらないので、女性医師用ではなく、男性・女性とも使える仮眠室があれば良い。

2. 女性医師用休憩室

- 1 あれば大いに利用 6
- 2 多少利用したい 4
- 3 どちらともいえない 1
- 4 あまり利用しない 3
- 5 殆ど利用しない(必要ない) 5
- 6 既に設備がある 2
- 7 その他 2

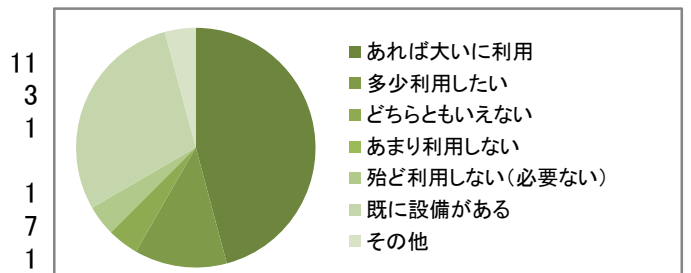


女性医師用ではないがORの近くにあるため、他に必要性は感じない。

男女問わず、病棟内に休憩室は必要。重傷患者が多い大学になぜないのか？

3. 女性医師用シャワー室

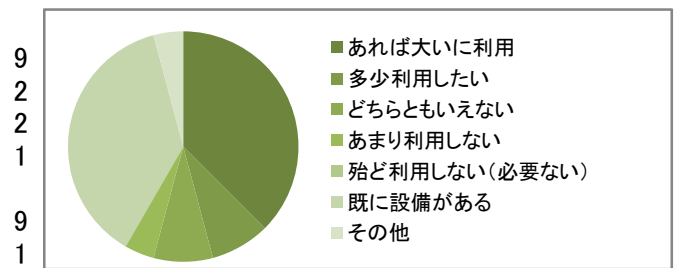
- 1 あれば大いに利用 11
- 2 多少利用したい 3
- 3 どちらともいえない 1
- 4 あまり利用しない 1
- 5 殆ど利用しない(必要ない) 1
- 6 既に設備がある 7
- 7 その他 1



ナースと兼用だが問題ない。

4. 女性医師用更衣室

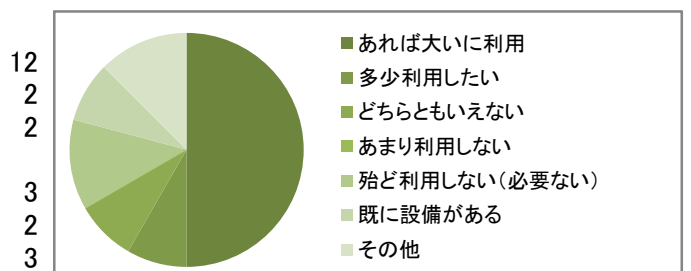
- 1 あれば大いに利用 9
- 2 多少利用したい 2
- 3 どちらともいえない 2
- 4 あまり利用しない 1
- 5 殆ど利用しない(必要ない) 1
- 6 既に設備がある 9
- 7 その他 1



ナースと兼用だが問題ない。

5. 女性医師用当直室

- 1 あれば大いに利用 12
- 2 多少利用したい 2
- 3 どちらともいえない 2
- 4 あまり利用しない 2
- 5 殆ど利用しない(必要ない) 3
- 6 既に設備がある 2
- 7 その他 3

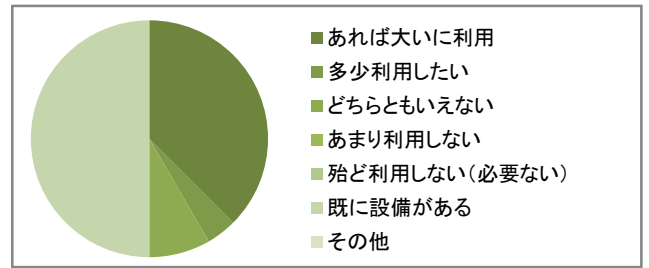


女性医師用ではないが、個室なので問題ない。担当病棟のそばであれば利用したい。当直はしていない。

女性医師支援プロジェクト

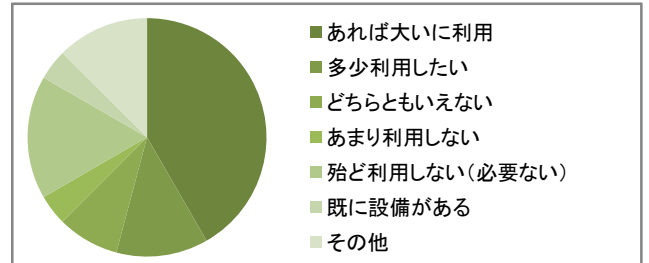
6. 女性職員トイレ (患者さんとは別のもの)

- 1 あれば大いに利用 9
- 2 多少利用したい 1
- 3 どちらともいえない 2
- 4 あまり利用しない
- 5 殆ど利用しない(必要ない)
- 6 既に設備がある 12
- 7 その他



7. 女性医師用洗面台

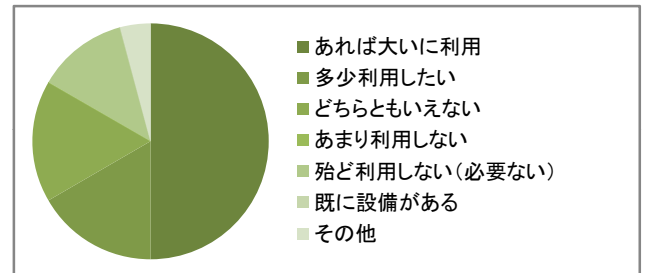
- 1 あれば大いに利用 10
- 2 多少利用したい 3
- 3 どちらともいえない 2
- 4 あまり利用しない 1
- 5 殆ど利用しない(必要ない) 4
- 6 既に設備がある 1
- 7 その他 3



トイレや当直室やシャワー室があるので不要。
(お湯が出るようにしてほしい)
ナースと兼用だが問題ない。
当直室に洗面台(シャワー付き)のものがあればいいと思う。

8. ウォシュレット

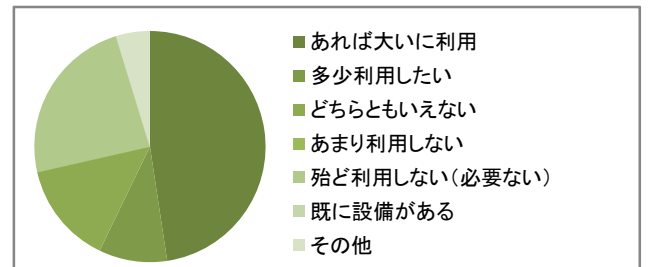
- 1 あれば大いに利用 12
- 2 多少利用したい 4
- 3 どちらともいえない 4
- 4 あまり利用しない
- 5 殆ど利用しない(必要ない) 3
- 6 既に設備がある
- 7 その他 1



便座が暖かければ良い。

9. 専用駐車場 (子育て中の職員用)

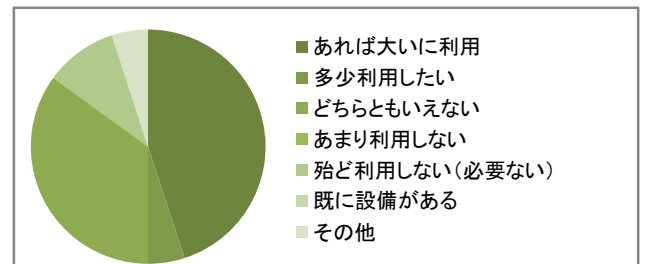
- 1 あれば大いに利用 10
- 2 多少利用したい 2
- 3 どちらともいえない 3
- 4 あまり利用しない
- 5 殆ど利用しない(必要ない) 5
- 6 既に設備がある
- 7 その他 1



職員用の駐車場自体全く整備されていないし、妊婦さんと早産しそうなオフロード状態。

10. 搾乳室

- 1 あれば大いに利用 9
- 2 多少利用したい 1
- 3 どちらともいえない 7
- 4 あまり利用しない
- 5 殆ど利用しない(必要ない) 2
- 6 既に設備がある
- 7 その他 1



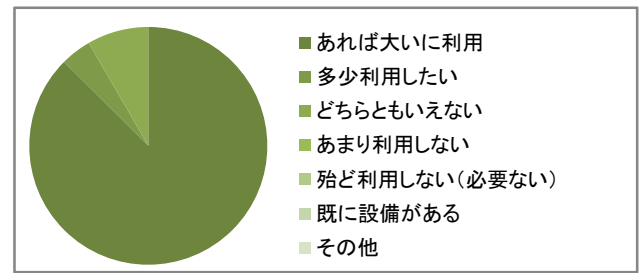
学生で子供いる方を含めて必要だが、保存する冷蔵庫等も必要。

女性医師支援プロジェクト

11. コンビニエンスストア (24時間営業, クリーニング, ATM等)

- 1 あれば大いに利用
- 2 多少利用したい
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり利用しない
- 5 殆ど利用しない(必要ない)
- 6 既に設備がある
- 7 その他

21
1
2



12. その他, どのような設備 が必要

病院や医局秘書を増やす。院内に相談窓口を作る(本当に忙しいと日中にあちこち問い合わせる暇もない)。

病児保育(病院・大学スタッフ共有の)ができればいいと思う。料金がかかってもいいと思う人達が多いのではないか。ナース資格を持つパートでもいい。病院に勤めているのに、ちょっと熱があるからと保育園から断られ、勤務を何日も休むのは病院にとってもデメリットでは？

病棟内の医師休憩室(当直室とは別)は、仮眠や食事も摂れるよう小あがり形式がよい(男女兼用で構わない)。

院内保育(病児)。呼び出し時に子供の具合が悪いときなど一時的に利用したい。

最低限ウォシュレットをつけてほしい。事務棟と看護にのみあって、臨床棟や当直室に近い所がないのはおかしい。

職員専用の食堂がないのがおかしい。

24時間保育室や、院内ネットワークとは隔離されたインターネットに繋がれたパソコン。

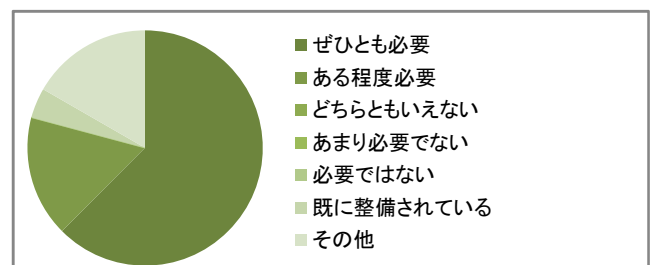
病児保育や病後時保育。

問4: 職場環境のソフト面

1. 妊娠中あるいは子育て の中の, 夜間・休日の宿 日直の免除

- 1 ぜひとも必要
- 2 ある程度必要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要でない
- 5 必要ではない
- 6 既に整備されている
- 7 その他

15
4
1
4



人によるのでは。子育て中とは何時までなのか、その定義も問題。

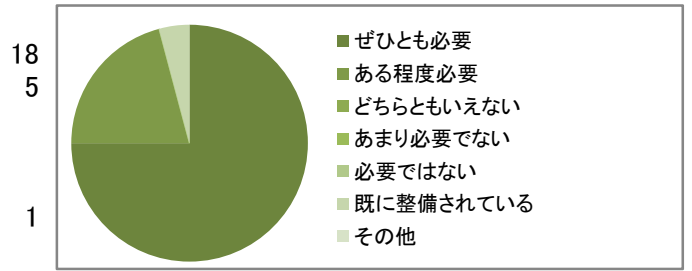
本人が希望すれば必要(一律にする必要はない)。宿直免除のみでもよいかと思う。

必要ではあるが、子育て中という縛りだと、いつまで?ということも問題。

女性医師支援プロジェクト

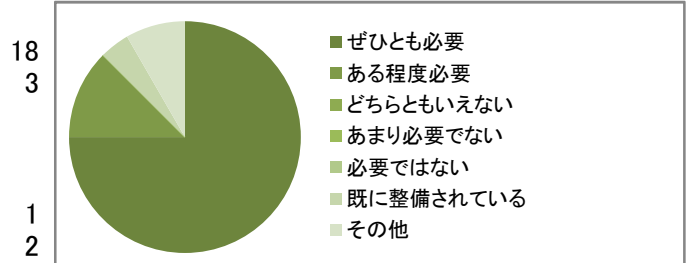
2. 子供の病気や学校行事等による休暇や早退

- 1 ぜひとも必要
- 2 ある程度必要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要でない
- 5 必要ではない
- 6 既に整備されている
- 7 その他



3. 正職員のまま短時間勤務、その他の柔軟な勤務形態をとれる制度

- 1 ぜひとも必要
- 2 ある程度必要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要でない
- 5 必要ではない
- 6 既に整備されている
- 7 その他

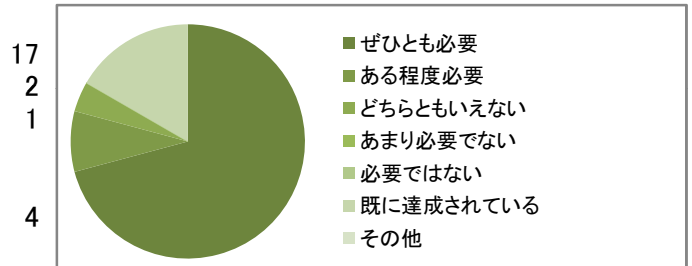


年休を使うこととの違いは？ 事務手続き上、もしくは昇給に関する問題点を明らかにせず、この質問はおかしいのでは？

フルタイムで働いている他の医師に対し、あまり優遇しすぎるのは良くないと思う。

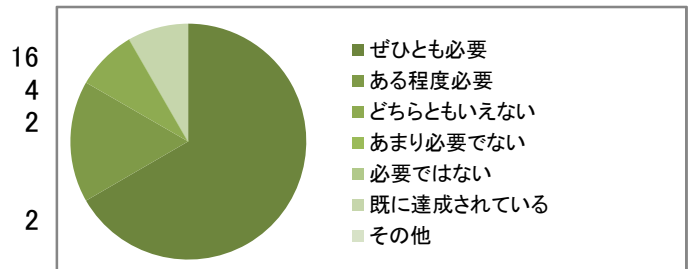
4. 産前・産後休暇をきちんと取得できること

- 1 ぜひとも必要
- 2 ある程度必要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要でない
- 5 必要ではない
- 6 既に達成されている
- 7 その他



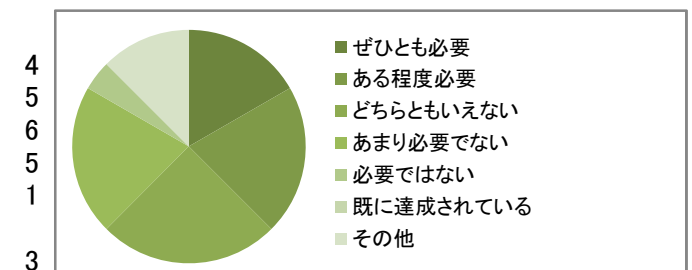
5. 育児休業をきちんと取得できること

- 1 ぜひとも必要
- 2 ある程度必要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要でない
- 5 必要ではない
- 6 既に達成されている
- 7 その他



6. 生理休暇をきちんと取得できること

- 1 ぜひとも必要
- 2 ある程度必要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要でない
- 5 必要ではない
- 6 既に達成されている
- 7 その他



生理中にシャワーや着替えもできずに連続して働かなければいけない労働環境が問題。

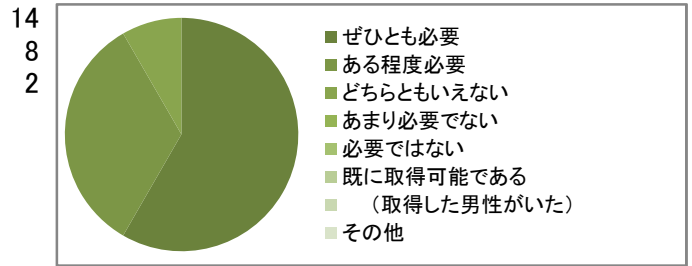
必要な人が取れば良い。

生理痛には個人差があるので、必要な人にはきちんと取得できることが重要だが、一律には必要とは思えない。

女性医師支援プロジェクト

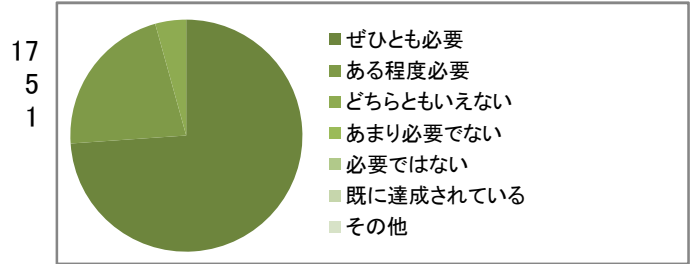
7. 配偶者の育児休業が 取得できること

- 1 ぜひと必要
- 2 ある程度必要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要でない
- 5 必要ではない
- 6 既に取得可能である
(取得した男性がいた)
- 7 その他



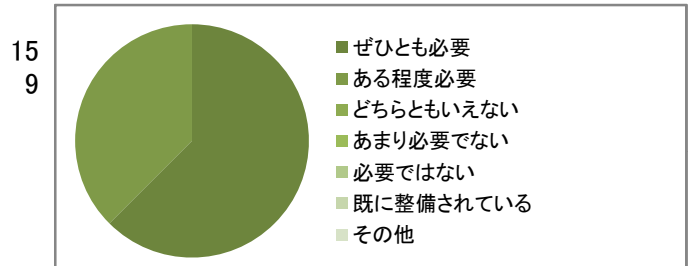
8. 男性医師も働きやすい 労働環境作り

- 1 ぜひと必要
- 2 ある程度必要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要でない
- 5 必要ではない
- 6 既に達成されている
- 7 その他



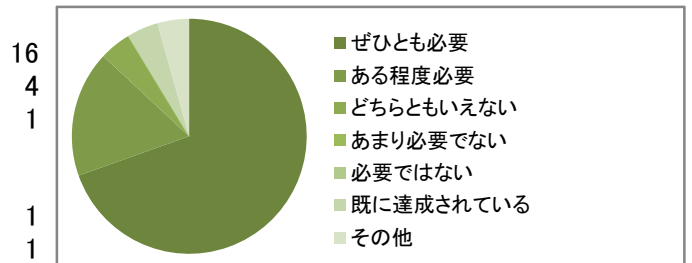
9. 子供の急病時などに 男性医師である父親が 休める制度

- 1 ぜひと必要
- 2 ある程度必要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要でない
- 5 必要ではない
- 6 既に整備されている
- 7 その他



10. 代診を依頼できること

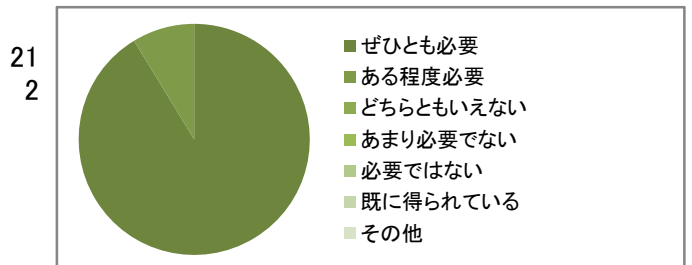
- 1 ぜひと必要
- 2 ある程度必要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要でない
- 5 必要ではない
- 6 既に達成されている
- 7 その他



代診依頼する人がいない。秋田の医師不足は深刻。

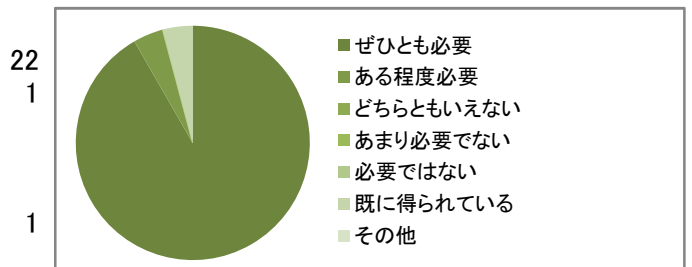
11. 配偶者の理解

- 1 ぜひと必要
- 2 ある程度必要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要でない
- 5 必要ではない
- 6 既に得られている
- 7 その他



12. 上司からの理解

- 1 ぜひと必要
- 2 ある程度必要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要でない
- 5 必要ではない
- 6 既に得られている
- 7 その他

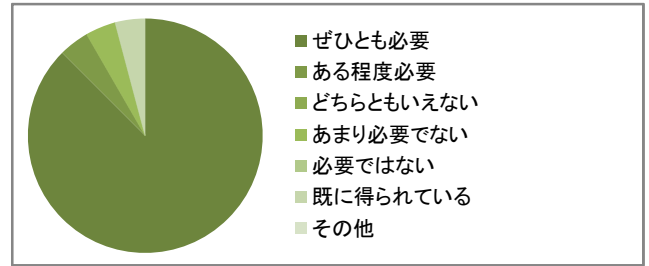


女性医師支援プロジェクト

13. 同僚からの理解

- 1 ぜひと必要
- 2 ある程度必要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要でない
- 5 必要ではない
- 6 既に得られている
- 7 その他

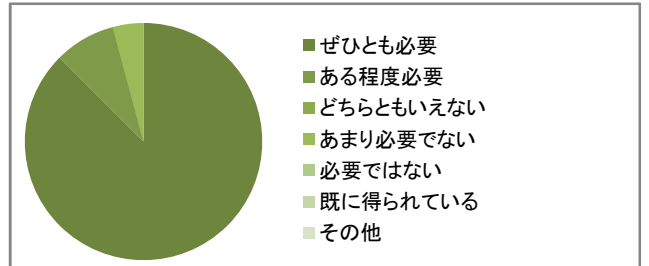
21
1
1
1



14. コメディカルスタッフからの理解

- 1 ぜひと必要
- 2 ある程度必要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要でない
- 5 必要ではない
- 6 既に得られている
- 7 その他

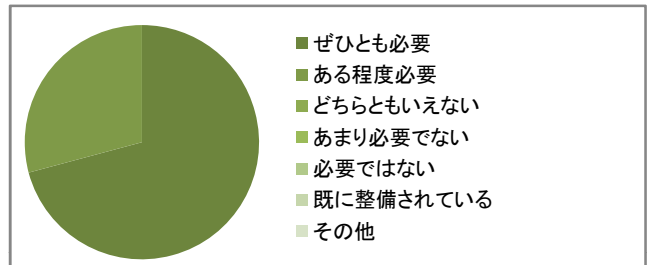
21
2
1



15. 親の介護に関する女性医師の支援

- 1 ぜひと必要
- 2 ある程度必要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要でない
- 5 必要ではない
- 6 既に整備されている
- 7 その他

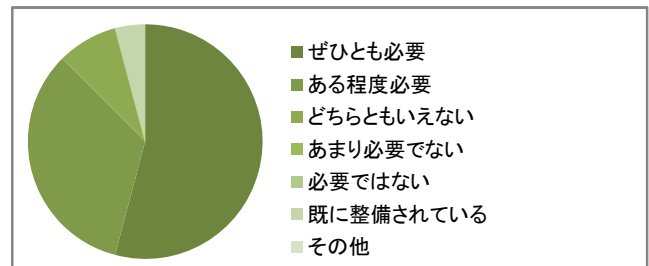
17
7



16. 復帰するための身分保証制度

- 1 ぜひと必要
- 2 ある程度必要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要でない
- 5 必要ではない
- 6 既に整備されている
- 7 その他

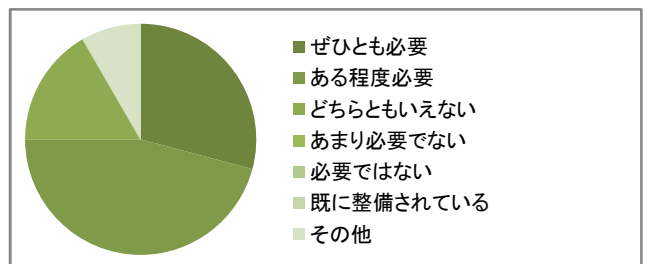
13
8
2
1



17. 復帰するための再研修制度

- 1 ぜひと必要
- 2 ある程度必要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要でない
- 5 必要ではない
- 6 既に整備されている
- 7 その他

7
11
4
2

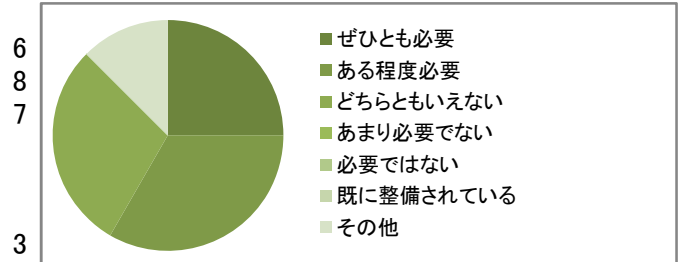


希望者はいつでも受けられる制度。
ブランクの長さなどに応じて、必要な場合とい
う場合がある。

女性医師支援プロジェクト

18. 女性医師バンク

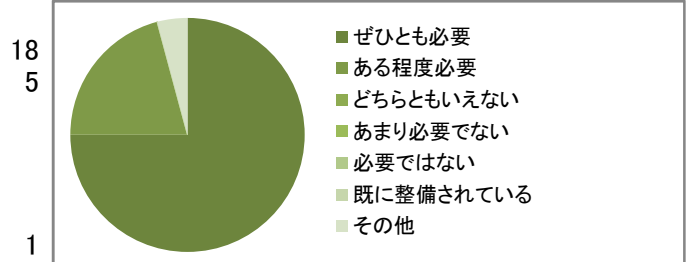
- 1 ぜひとも必要
- 2 ある程度必要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要でない
- 5 必要ではない
- 6 既に整備されている
- 7 その他



医師不足の現在、女性医師に限ったバンクは必要か？ 設問の意図が不明。
 どのようなものか？
 必要な時もあるかと思うが、能力・手技的に一定一定レベルを保てるのか疑問。

19. 宿直あけの勤務短縮制度等

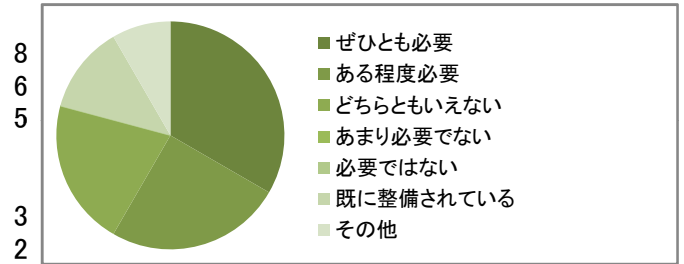
- 1 ぜひとも必要
- 2 ある程度必要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要でない
- 5 必要ではない
- 6 既に整備されている
- 7 その他



男女に関わらずない。

20. 主治医グループ制度

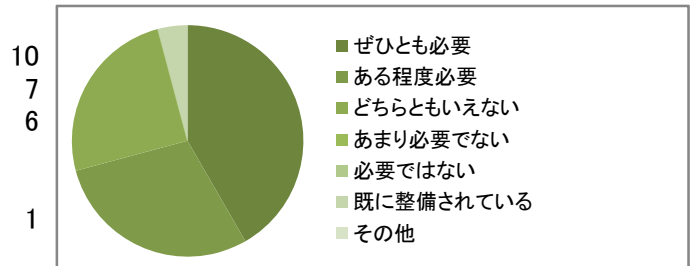
- 1 ぜひとも必要
- 2 ある程度必要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要でない
- 5 必要ではない
- 6 既に整備されている
- 7 その他



この設問も意図不明であり、また科によって違う。
 チーム制ということならば必要。

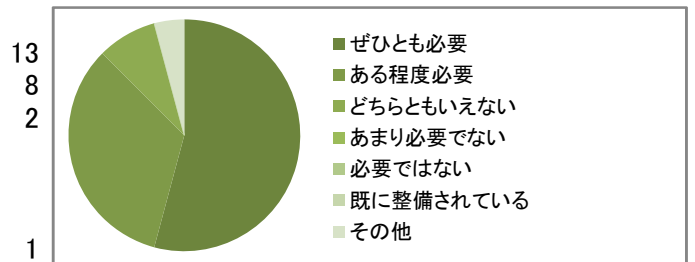
21. 夫婦でなるべく同じ病院または同地域へ赴任できる制度 (配偶者が医師の場合)

- 1 ぜひとも必要
- 2 ある程度必要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要でない
- 5 必要ではない
- 6 既に整備されている
- 7 その他



22. 現場の女性医師の声を反映させるための制度や組織等

- 1 ぜひとも必要
- 2 ある程度必要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要でない
- 5 必要ではない
- 6 既に整備されている
- 7 その他



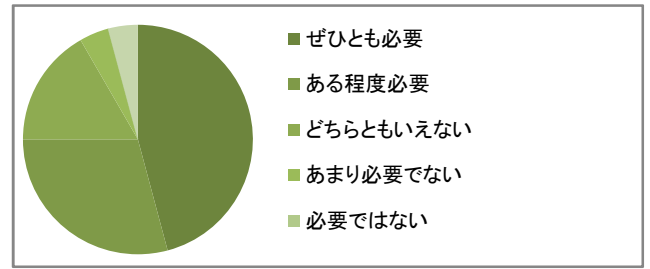
女性医師に限らず、現場で働いている人全ての声を反映させる方が重要。

女性医師支援プロジェクト

23. 困った患者(セクハラや暴言など)への対応マニュアルの作成

- 1 ぜひとも必要
- 2 ある程度必要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要でない
- 5 必要ではない
- 6 既に整備されている
- 7 その他

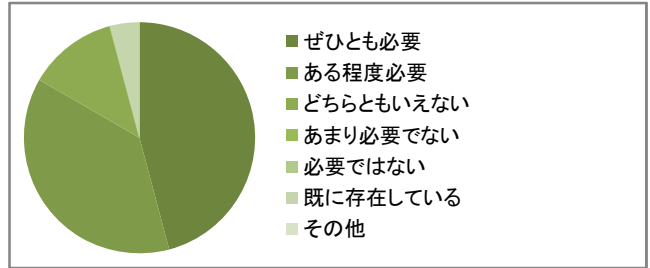
11
7
4
1
1



24. 子育て支援コーディネーターの存在(子育ての支援情報を配付するなど、必要な支援を担当する方)

- 1 ぜひとも必要
- 2 ある程度必要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要でない
- 5 必要ではない
- 6 既に存在している
- 7 その他

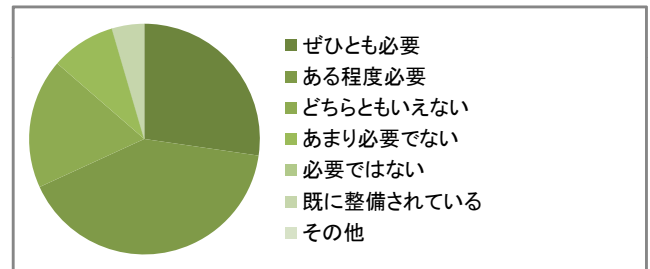
11
9
3
1



25. ホームページやメールなども含む子育ての相談窓口

- 1 ぜひとも必要
- 2 ある程度必要
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要でない
- 5 必要ではない
- 6 既に整備されている
- 7 その他

6
9
4
2
1



26. その他、どのような制度が必要か

子育てから家の修理、代車の手配まで何でも個別に相談にのってくれるデスク。
子供や親が入院したときかわりについてくれる方をすぐ要請できる制度、また病院も肉親でなくても付き添える制度。

女性に限らず、介護中子育て中の男性も働きやすい制度を作るのが一番。

同職者からの理解は十分に得られているが、とにかく人が少なく、どうにも休めないことが多い。とにかく人数！

家事サポート

病児保育

モバイト.comなどのように、急な診療現場の人員が欠員の時に、産休・育児中だけど働ける女性医師がヘルプできる制度があると、お互い持ちつ持たれつではないか。

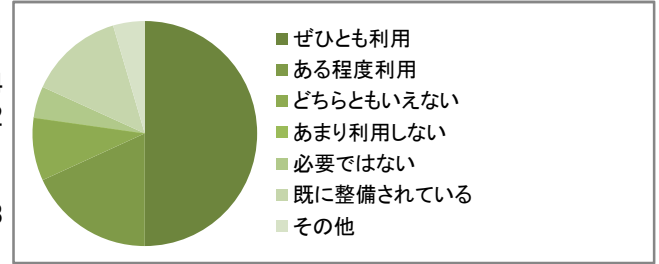
女性医師支援プロジェクト

問5:子育て中の医師あるいは職員用の保育園の設置形態等について

1. 院内保育所

- 1 ぜひとも利用
- 2 ある程度利用
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり利用しない
- 5 必要ではない
- 6 既に整備されている
- 7 その他

11
4
2
1
3
1

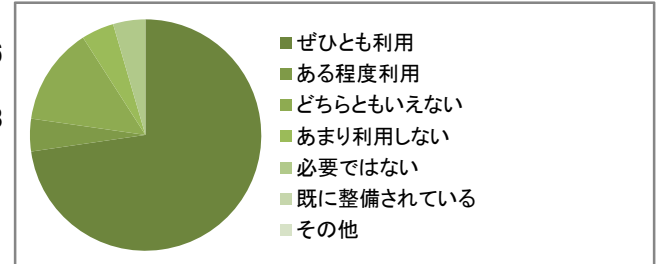


院内ではないが、大学では丁酉会がやっている。

2. 病児保育制度

- 1 ぜひとも利用
- 2 ある程度利用
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり利用しない
- 5 必要ではない
- 6 既に整備されている
- 7 その他

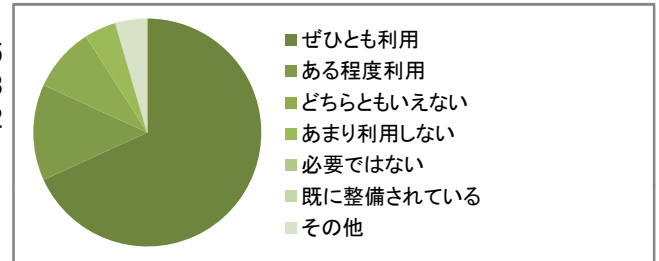
16
1
3
1
1



3. 病後児保育制度

- 1 ぜひとも利用
- 2 ある程度利用
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり利用しない
- 5 必要ではない
- 6 既に整備されている
- 7 その他

15
3
2
1

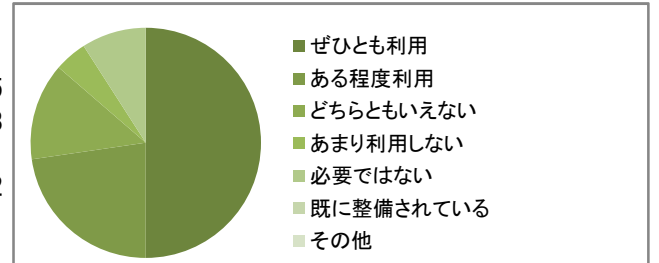


現在通園している保育園では、やむを得ず見てくれている。

4. 24時間保育制度 (休日、夜間を含む)

- 1 ぜひとも利用
- 2 ある程度利用
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり利用しない
- 5 必要ではない
- 6 既に整備されている
- 7 その他

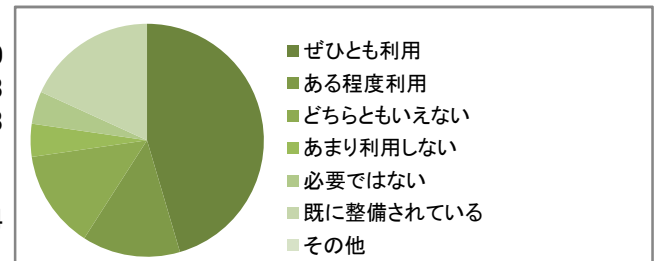
11
5
3
1
2



5. ゼロ歳児保育制度

- 1 ぜひとも利用
- 2 ある程度利用
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり利用しない
- 5 必要ではない
- 6 既に整備されている
- 7 その他

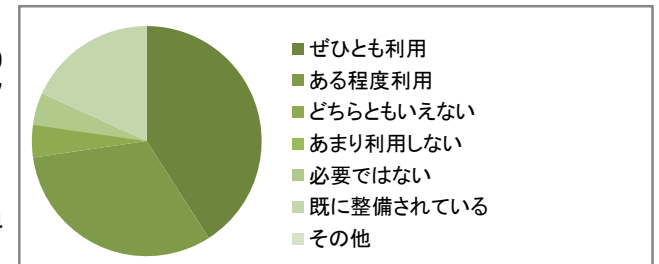
10
3
3
1
1
4



6. 延長保育制度 (20時か21時頃まで)

- 1 ぜひとも利用
- 2 ある程度利用
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり利用しない
- 5 必要ではない
- 6 既に整備されている
- 7 その他

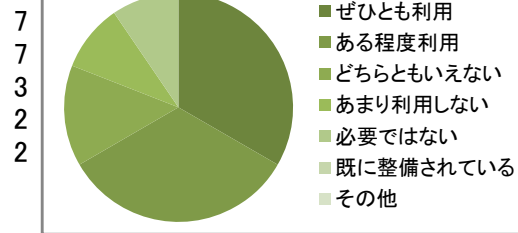
9
7
1
1
1
4



女性医師支援プロジェクト

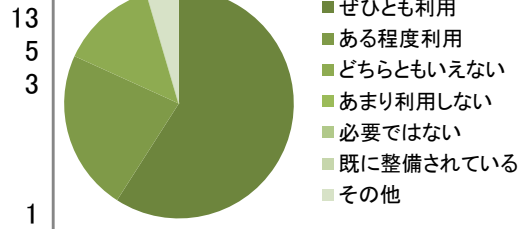
7. 延長保育制度 (24時頃まで)

- 1 ぜひと利用
- 2 ある程度利用
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり利用しない
- 5 必要ではない
- 6 既に整備されている
- 7 その他



8. 学童保育制度 (院内保育に併設)

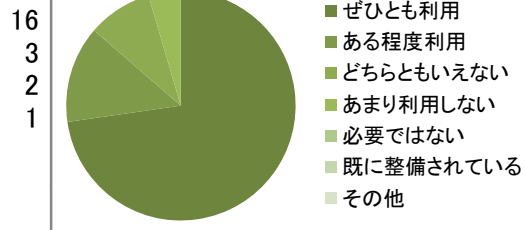
- 1 ぜひと利用
- 2 ある程度利用
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり利用しない
- 5 必要ではない
- 6 既に整備されている
- 7 その他



地区に整備してほしい。

9. 緊急時の短時間の保育 制度 (医師の緊急の呼び出し に対応するもの)

- 1 ぜひと利用
- 2 ある程度利用
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり利用しない
- 5 必要ではない
- 6 既に整備されている
- 7 その他



10. その他, どのような 運営形態の保育所 が必要か

秋田市内であれば全ての家庭に対し、電話一本でいつでも預けられる支援が必要。地域では看護師を含めた病院勤務者に対する個別対応。

カメラで保育の様子を見守ることができる(例:病院のパソコンから)。病院内なら子供と当直できて保育もできる部屋(呼び出し時は保育所へ)。

24時間保育があるから・病児保育があるからという前提で長時間勤務を強いられることを恐れている。そうでなければ、どうしても病院に出なければならぬ時に一時的にいつでもお願いできる保育所が院内にあるといい。

勉強会等21時までのことが多いので、延長保育を22時くらいまであてにできるとよい。

土日など臨時に乳児院ファミリーサポートなどを利用してきたが、ある程度子供が大きくなると、環境の変化に対応できず情緒不安定になった。普段慣れている保育園で預けることができればベスト。

認可保育園としてもらいたい。安心な保育園(ベテラン保育士さんについてもらいたい)。

保育設備の充実は過ぎれば仕事重視、子育て放棄につながりかねないと思う。ある程度の充実で子育てにも重きをおけるよう配慮してほしい。

せっかく院内保育なら、預けている間に発熱など体調を崩した場合、小児科受診やそのまま病児保育へ切り替える制度・サービスがあると素晴らしい。

女性医師支援プロジェクト

問6: 女性医師が子育て中に
離職や休職せざるを得ない
原因は

出産前の過重な労働を経験している身として、
出産後育児をしながら働くということが想像でき
なかった(可能だと思えなかった)。

現在の医師の働き方が通常の間人以下だから、
ギャップがありすぎる。子供がかわいいから、
子育てに没頭したい。

理解のない上司、同僚の存在。医師夫婦の場
合、女性のみ子育ての負担が集中すること。

子供の急病、子供と過ごす時間が短くなる。家
族の協力が得られない(居住場所が遠い)。

子育てが片手間にできることではないから。女
性である以上、仕方がないことであり、女性の特
権であると考えないと良いと思う。

本人の希望。

職務形態がゼロ or MAXで技術や能力以外の
不安(一番は時間・体力)が多すぎる。

Callに応じられない時間があるということ(主治
医としての責任力が低いという考え)。

勤務そのものが激務過ぎる。

自分の子供が病気であるのに他人に任せて病
院に出なければならぬ時、辞めたいと思う。

家族・職場の子育てへの理解が乏しい。

出身が秋田ではないこともあり、他に育てる人が
いない状態では当然。休職は仕方ないことだと
思うが、離職について復帰しづらかったり理解を
得にくかったり、技術的・体力的にも不安があるので、
そのサポートが必要。

ある程度、勤務時間にゆとりをもってもらったり、
日当直の免除は必要。

子供もみってくれる人が近くにいない。

現在に至るまでの常識。職場の雰囲気。

中途半端に働くことによって、周囲に迷惑をかけた
くないから。子供は必ずしも健康で丈夫だとは限らな
いから、自分の子供はできるだけ愛情をかけて育て
たいから。

子育てに専念したいという気持ちも正直ある。

体力的に両立が難しい(両親や夫の協力が得られ
ないなどの理由も含め)。

結果的に他の先生に必ずしわ寄せがいくのがわか
るので気兼ねする。

一度離職・休職すると復帰するのがおっくうになる。

子供がかわいいから。

女性医師支援プロジェクト

問7: このアンケートを含め、子育てサポートに関する意見

このアンケートの質問は、流産された方や不妊治療している人もいるのに、女性医師＝子供を産む者というすりかえがあり、不快。

医師全体の生活レベルを他にしわよせがこない形で改善しないと、再び女性医師が敬遠されると思う。全体にアンケートしてみてもいい？

そもそも体のつくりが異なっているため、男女平等などという環境を作ろうという方が不平等と考える。あまり女性医師の立場の優遇を強く言うと、同じ状態(条件)で働いている男性医師も面白くないだろうし、それこそ女性医師への風当たりが強くなる気がする。何をさせていただいてもよいが、上手にやってほしい。

医師人数を増やし、男女ともに育児・家事に関われる労働環境がなければ、女性医師の育児環境は根本的に変わらないと思う。

現在子供はいないが、出産はしたいと考えている。仕事をある程度やりたくて出産が遅れたが、出産前後の仕事のあり方については、常に不安が多い。

また子供がいなくても当直後や生理中などは体力的にきつくなっており、妊娠についても健康面で不安がある。出産にかかわらず女性医師への配慮は今後、女医が増えていく中でもっと大切になっていくのではないかな。

配慮はしてほしいが、実際に自分の周囲の女性医師が堂々と産休・育休を取って、その分の負担が周囲の医師に降りかかって仕事の負担が増えると、こんな制度ない方がましだと思う。

男性医師・独身・子供のいない医師にとっても、全体的に休みを取りやすい環境にしてほしい。

女性医師も増え、個々の子育てのサポートを万全にするのは非常に難しいのではないかな。

女性に限らず、全ての職員が家庭・子育てを大事にできる支援が必要。

気兼ねなく休んだりするためには、周りの人の理解だけではなく、周りの人に負担がかかる現状を変えなくてはダメだと思う。

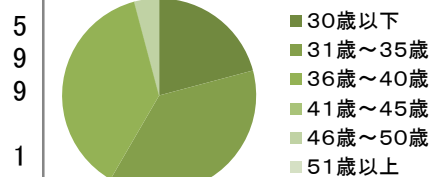
また、子育てが一段落したら、今度は若い人達を支える気持ちも必要。

未婚者、子育てをしていない女性医師には回答できない問いが多く、苦痛を感じた。「ママさん医師支援プロジェクト」と名称をかえていただいた方がスッキリするように思える。

問8: あなたご自身のこと

1. 年齢区分

- 1 30歳以下
- 2 31歳～35歳
- 3 36歳～40歳
- 4 41歳～45歳
- 5 46歳～50歳
- 6 51歳以上

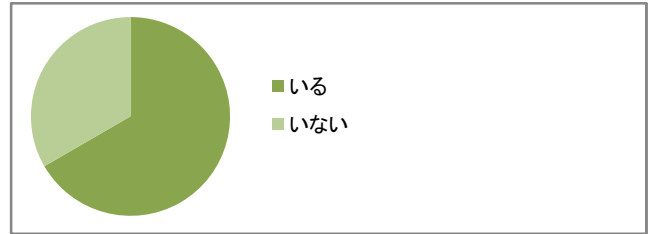


女性医師支援プロジェクト

2. 配偶者の有無

- 1 いる
- 2 いない

16
8



3. 配偶者は職業

- 1 医師
- 2 他の職業

12
4



4. 子供

- 1 ゼロ歳／幼児
- 2 小学生
- 3 中学生以上

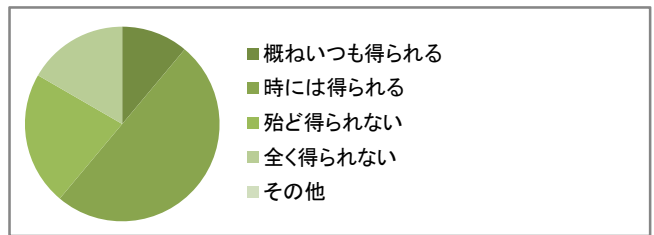
12
2
3



5. 子育てについて親(祖父母等)の支援を得られるか

- 1 概ねいつも得られる
- 2 時には得られる
- 3 殆ど得られない
- 4 全く得られない
- 5 その他

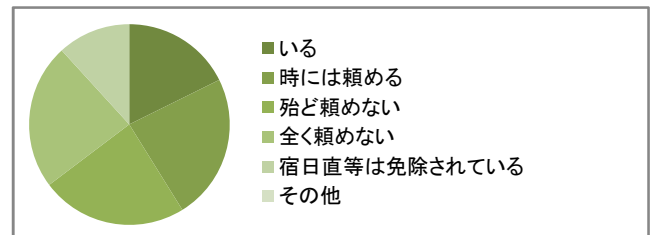
2
9
4
3



6. 夜勤や急な呼び出しの際に支援してくれる方はいるか

- 1 いる
- 2 時には頼める
- 3 殆ど頼めない
- 4 全く頼めない
- 5 宿日直等は免除されている
- 6 その他

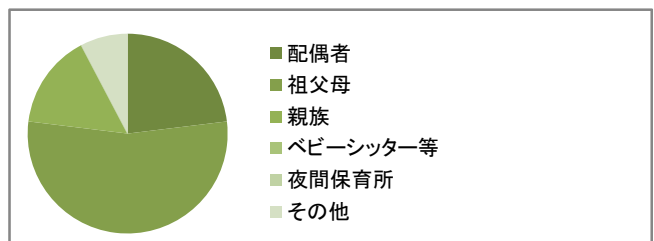
3
4
4
4
2



いる場合、それはどのような方

- 1 配偶者
- 2 祖父母
- 3 親族
- 4 ベビーシッター等
- 5 夜間保育所
- 6 その他

3
7
2
1



知人